



県評しずおか

静岡県労働組合評議会

〒420-0851 静岡市葵区黒金町55番地 交通ビル3階
TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973
Eメール kenpyo@cy.tnc.ne.jp



2025年春闘

対話と学びあいで要求実現

大幅賃上げ・底上げ

JMITUは、24春闘で「物価高騰に負けない大幅賃上げを」を合言葉に、積極的な賃上げ要求の組織化に取り組みました。職場組合員や家族の声を結集し「物価高騰に負けない大幅賃上げを」の職場世論をつくる努力を行った結果、60支部分会がストライキに決起し、ストライキ件数はのべ100回を越えました。賃上げ額は93春闘以来、31年ぶりに全国平均が5桁を突破することが出来ました。こうした状況を作り出した要因の一つは、春闘後半戦に入っても「流れ解散」とせず、産別別統一闘争を強め、職場激励と産別団交・回答促進の統一行動が前進したことです。また、その先頭に立ち、産別別統一闘争を強化するとともに、地域から産業や企業の枠を超えた統一行動、共同行動を行い、地方・地域労連によるストライキへの激励・支援がこれまでに以上に強まったことです。25春闘ではそうした成果と教訓をさらにいかした春闘に取り組みます。(JMITU)

改憲ストップ・平和を

軍事費の拡大が止まりません。25年度は8兆7005億円を計上、過去3年間で3兆円の大増。敵基地攻撃の長射程ミサイルの整備が目立ちます。一方で、教育関係費はその半分の4兆1275億円、中小企業対策費は1695億円と2%程度です。大軍拡が私たちの暮らしの予算を圧迫しています。しかし、軍事費拡大をマスコミは批判しません。中国を仮想敵国と考へ、軍事費拡大をやむを得ないと考えているのでしようか。ロシア、イスラエルなど、軍事力が世界を覆っているようにみえます。しかし、日本被団協がノーベル平和賞を受賞、核廃絶・平和への地道な運動が世界に認められました。今年には戦後80年、戦争で国民が苦しんだ歴史だけでなく、日本の侵略、植民地支配でアジア・世界の人々を苦しめたことを学びましょう。改憲を許さず、武力でない外交で平和をつくろうと声を上げます。9日の日宣伝、19日行動など、地道に、諦めずに続けます。(静岡地区労連)

労基法解体ストップ

労働基準法(以下労基法)の見直し等を検討する厚労省の労働基準関係法制研究会が昨年末、報告書案をとりまとめました。2026年の通常国会での法案提出を目指しています。最大の問題点は「労使の合意等の一定の手続きの下に個別の企業、事業場、労働者の実情に合わせて法定基準の調整・代替を法所定要件の下で可能とすることが、今後の労働基準関係法制の検討に当たっては重要である」と明記された点です。これは「労使合意があれば、労基法で定められている労働基準を無視して勝手に労働条件を決められる」「社会としての働くルールをなくす」ということです。このような事態になれば、労働者が今よりも過酷な状況に置かれることは明白です。時計の針を戻してはなりません。反対の世論を喚起し、労基法の解体を阻止しましょう。(ローカルユニオン静岡)

公共の再生

静岡自治労連は、25春闘で賃金闘争と公務・民間の連帯をすすめていく事が重要であると考えています。公務公共関係労働者の賃金制度に大きな影響を与える人事院勧告によつて、2025年4月から実施される「給与制度のアツプデート」の最も大きな見直しとして、地域手当の制度が大きく変わるからです。いま全労連が全国一律最賃の実現を求める運動を展開していますが、これが実現すると「地域手当支給率が自治体ごとに異なる」という現在の状況の根拠がいつそう弱まることとなります。そうであるならば、自治労連がこれまでもずっと要求し続けてきた「地域手当を廃止し、基本賃金に組み込む」ことの実現性が増してくるのではないかと考えています。25春闘は、最低賃金と地域手当の関係性がこれまでよりもより分かりやすいものとなり、実現を展望するうえで重要な春闘になると思います。(静岡自治労連)

あけましておめでとう

2025年新春あいさつ
県評議長 菊池 仁



菊池 仁 県評議長

2025年になりました。今年もみなさんと一緒に、生活改善のために奮闘していく覚悟です。昨年、新年早々に能登半島地震が発生しま

した。9月には豪雨災害が重なり、現地はさらなる困難に直面しています。静岡県評からも支援ボランティアに何人も仲間が駆けつけました。が、復旧・復興はおろか、損壊建物の撤去、片付けなど、ほとんど進んでいないとの報告を受けています。厳しい冬の季節を迎え、国や自治体のいつかの支援が急務ですが、

当該自治体の職員も被災者であり、日常の業務量の増大と人員削減で多忙をきわめ、手が回らないのが現状です。自治体の人員不足は深刻です。新自由主義経済政策による弊害がここにも表れています。東日本大震災の経験がまったく活かされていません。私たちが進める「公共を取りもどす」運動の重要性がより鮮明になりました。震災など数々の大災害やコロナ危機な

どの教訓を活かし、地域住民のいのちと健康、くらしを守る政治と地方自治体をつくりだしていかなければなりません。県評組合員のみならず、今年には参議院議員選挙が行われます。国民ひとり一人の生活の向上と地域経済の活性化のため、政治を変えるチャンスです。そして対話と学びあいを進め経営側と対等な立場で交渉できる労働組合づくりをしていきましょう。

すべての労働者の大幅賃上げや労働時間短縮を実現させよう」と静岡県春闘共闘会議は、6日と7日に25春闘 新春宣伝行動を沼津・静岡・浜松で行いました。全体で22人が参加し「給料上げて!と声をあげよう」「労働組合に入って交渉しよう」と横断幕を掲げ通勤者に1600枚のティッシュペーパーを配布しました。沼津駅頭でマイクを握った上野県評事務局長は「昨年の賃上げ額では物価の上昇に追いついておらず、引き続き物価高騰の中で労働者の暮らしはますます苦しくなっている。今年こそは物価高騰を上回る賃上げを獲得するために労働組合に



静岡でのビラ配布様子



新春宣伝に集まった西部地区労連の仲間

県評女性部 初春のつどい

日時 2025年2月8日(土)
受付 13時 開会 13時30分
会場 静岡労政会館(展示室)
ZOOM併用
講演 「防災を問い直す」
田中純一さん(北陸学院大学教授)

大幅賃上げ・時短をすべての労働者に

入って実現しよう」と訴えました。13日には静岡県春闘共闘会議の総会を行い今年の春闘方針を確立し春闘本番に向かいます。



一コマ漫画

運動方針の決定と

各県の活動交流

東海北陸ブロック総会

全労連東海・北陸ブロック総会は12月14日から15日に石川県平和と労働会館で開催されました。参加者は東海・北陸の各7県から42名でした。静岡県評からは菊池議長や青年3名を含め8名が参加しました。

東海・北陸ブロックの長曾輝夫議長は「北陸は能登半島地震と台風豪雨の2重災害で多くの死傷者、家屋



ブロック総会に参加した静岡県のみなさん

連の松本さんは、アメリカでのレイバーノーツ体験を語りました。菊池議長と上野事務局長も春闘の意気込みやケア労働者の運動について発言しました。

2日目は秋山正臣全労連議長が「2025国民春闘をどうたたかうか」について講演しました。最後はブロック新議長に選出された福井県労連の田中康博氏の団結がんばろうで閉会しました。

ゆきごじいた教育を 教育全国署名

給食を含む教育の無償化、教職員定数増による少人数学級と教員未配置の解消、特別支援学校の過剰解消、解消、自然災害に対する安全確保などを求め、静岡県議会と、政令市の静岡市、浜松市議会への請願に向けて県内各地で取り組んでいます。

12月16日には増井浩二副知事と池上重弘教育長に要請。まず、過去最高の不



増井浩二副知事との懇談の様子

登校への対策を問題にしました。

今年度からリースクー

ルへの支援は始まりましたが、多額の父母負担で利用を断念したり、経営困難で閉所する施設があることなどを訴えました。

本来、学校が子どもの居場所であるはずですが、教員の多忙で丁寧な対応ができません。志願者減、若年退職者増、病休、産育休の代替教員未確保も多忙が根本原因です。

学校給食無償化も求めました。朝夕食はふりかけがおかず、給食が唯一の栄養源という子どもの実態を訴え、「子どもは国の宝」として、幼稚園から高校まで給食を無償化した諸外国の例などを伝えました。

有機による安心・安全な食材を利用した地産地消は、地域の農業の振興、食料自給率向上にもつながります。

県も国に要望している教育予算増、独自の子ども支援策実施が切実さを増すはずです。

12月1日現在署名は、静岡市5071筆、浜松市3089筆、静岡県6266筆、計14426筆。浜松市議会には11月12日、静岡市議会には11月21日、議長に提出し要請。静岡市議会では、12月4日の常任委員会で趣旨説明を行いました。

12月6日の全国集約集会では215万1888筆、国会議員への要請を行い、2月の国会に請願します。静岡県議会には、2月議会に提出する予定です。

浜岡原発 永久停止訴訟 第40回口頭弁論

浜岡原発永久停止訴訟第40回口頭弁論が、11月18日、地裁浜松支部で行われました。原告側は、40名が出席しました。

浜岡原発は世界で1番危険な原発と言われている。活断層の真上にあります。陸地から70m先の海水をパイプで取水して原発を冷却



裁判後の弁護団の報告の様子

食を無償化した諸外国の例など伝えました。

有機による安心・安全な食材を利用した地産地消は、地域の農業の振興、食料自給率向上にもつながります。

県も国に要望している教育予算増、独自の子ども支援策実施が切実さを増すはずです。

12月1日現在署名は、静岡市5071筆、浜松市3089筆、静岡県6266筆、計14426筆。浜松市議会には11月12日、静岡市議会には11月21日、議長に提出し要請。静岡市議会では、12月4日の常任委員会で趣旨説明を行いました。

12月6日の全国集約集会では215万1888筆、国会議員への要請を行い、2月の国会に請願します。静岡県議会には、2月議会に提出する予定です。

職場の安全衛生を実現するために

静岡県安全健康センター No. 100

個人事業主の 労災認定

9月号で在宅ワークとみなし労働時間の記事を書きました。要約すると事業場外みなし労働時間制(労基法38条の2)とは、事業場外で従事し、労働時間が算定しがたいとき、所定労働時間労働したもの「みなし」というものです。

この制度では残業などが認められない事になります。ところが繁忙期に上司がチャットやメールで数分単位で作業確認や催促の指示をして長時間労働に匹敵する状況が生まれ精

神障害を発生しました。みなし労働時間制の過重と認定することが困難ですが、過重労働による労災と認定したというものでした。(横浜)

今回のケースは、自己申告の出勤簿の労災事案です。(大阪)物流機械のメンテナンス部門の労働者が、出張修理サービスに従事し、朝早くから(午前2時〜7時)出かけたり、とりわけ休みの日にも会社からの電話などで指示で出張に駆り出されたりしていました。現場に直接出勤する場合タイムカードの記録

が困難であり、自己申告で管理表に記入していたが、月の時間外労働時間は30時間以内と指導されていたため、過少申告させられていました。休日の場合には特に「電話が来たら必ず取るように」との指導がされ、労働者は常に携帯を気にさせられていたと言います。この結果この労働者は直前1か月で135時間の長時間労働となり、うつ病を発症して自死してしまいました。長時間労働の立証に時間を要し3年かかってようやく労災と認められました。

静岡県労働研究所

No. 80



報告する小澤氏

最賃引き上げの 環境整備を

12月19日、定例研究会が開催されました。「何が公正取引を困難にしているのか!経営者調査から得られた示唆」と題し

て、小澤薫氏が報告しました。

令和6年度中央最低賃金審議会は「中小企業・小規模事業者が継続的に賃上げできる環境整備の必要性については労使共通の認識であり」と述べています。

今回、インターネット調査の結果から、価格転嫁を困難にしている要因や、中小・零細企業経営者が真に必要とする支援について考えます。調査は2023年2月に、従業員規模3人から300

人未満を対象に、5千人から回答がありました。

その結果、約3分の1が値引き要請を受けていました。業種別値引き要請の頻度で「何度もあった」のは「電気ガス水道」「卸売業」「建設業」「製造業」が多いです。「業務改善助成金」は、個別企業ごとに賃上げと生産性向上を支援する仕組みです。2023年度の交付決定件数は1万3千603件(151,6億円)です。収支状況が悪い企業ほど「利用した

ことがない」という回答が多いです。

自由記述として「とにかく消費税減税や社会保険料の一定期間の負担軽減を強く望みます。短時間労働者の社会保険加入だけでも死活問題となっています」「大手企業が価格転嫁できない分を中小企業へしわ寄せしている状況を改善してほしい」などがあります。

値引き要請が頻繁に行われることを規制するのは、行政の役割です。

民主主義を 守るために 年金裁判

12月24日、最高裁判所第三小法廷で、石川・福井、大分、静岡の年金裁判の三事案に対する判決がありま

した。静岡県本部からは、塚平委員長(三島)をはじめ、福原(富士宮)金原(磐田)新井(静岡)の原告4人が参加しました。

最高裁判所近くの三宅坂公園で集会后、最高裁判所正面から入廷。私は初めてでしたが、迷路のような通路と厳格な手荷物検査には驚きました。傍聴者は60名。開廷と同時に、静岡の大多和弁護士が拳手をして「10年に及ぶ原告団の取り組みを訴え、大法廷での審理を退けた上に、三事案一括判決など通常ありえず、最高裁判所として真摯に審理した結果とは思えず、断固抗議する」と堂々と私たち原告と弁護団の思いを代弁しました。しかし、裁判長は、淡々と「主文 上告を棄却する」と三事案毎に同じ言葉を繰り返して、最後に「違法性は認められない」旨の発言で閉廷を宣言。

掲載記事の訂正とお詫び

2024年12月10日第184号のスズキ補助金裁判の記事で次回の裁判期日を2025年1月25日午前10時30分からと書いていたが、正しくは2025年1月24日午前10時30分からです。訂正してお詫び申し上げます。